

しもいぬどう
⑥ 下犬童 <千代田町>

人口 571 人、世帯数 169 世帯

下犬童は、小物成、本村、新村の3つの小地区からなり、千代田町の西部、国道34号線沿いにあります。交通の利便がよく、世帯戸数も増え続け、非農家と混在化しています。

以前は、水利が悪く干害、水害が常襲化していましたが、平成7年度のほ場整備事業での導水路（県営諸富線）の完了で水害の悩みは解消されました。

年中行事として、7月15日に小・中学生男子の祇園、9月12日に12日籠もり（赤面黒面の鼻高天狗面を原ノ町浜の汐水でみそぎ）をします。また、12月の第1日曜日に西宮神社で豊作家内祈願を続けています。



▲ほ場整備事業で完成した県営水路 諸富線

かみくろい
⑤ 上黒井 <千代田町>

人口 106 人、世帯数 25 世帯

上黒井は、千代田町の北部に位置しています。

地区では、5月におこもいさんを行い、12月には、地区住民（老人会から子どもクラブまで）でしめ縄を作って熊野神社に奉納しています。

圃場整備が行われる前、地区内外にクリークが張り巡らされており、水の事故が多くありました。熊野神社には、子どもを守る災難除けの神様が祭られていると言われています。

小さいお子様があられるご家庭は、健やかな成長を願いにお越しください。



▲圃場整備前の上黒井地区（S58）

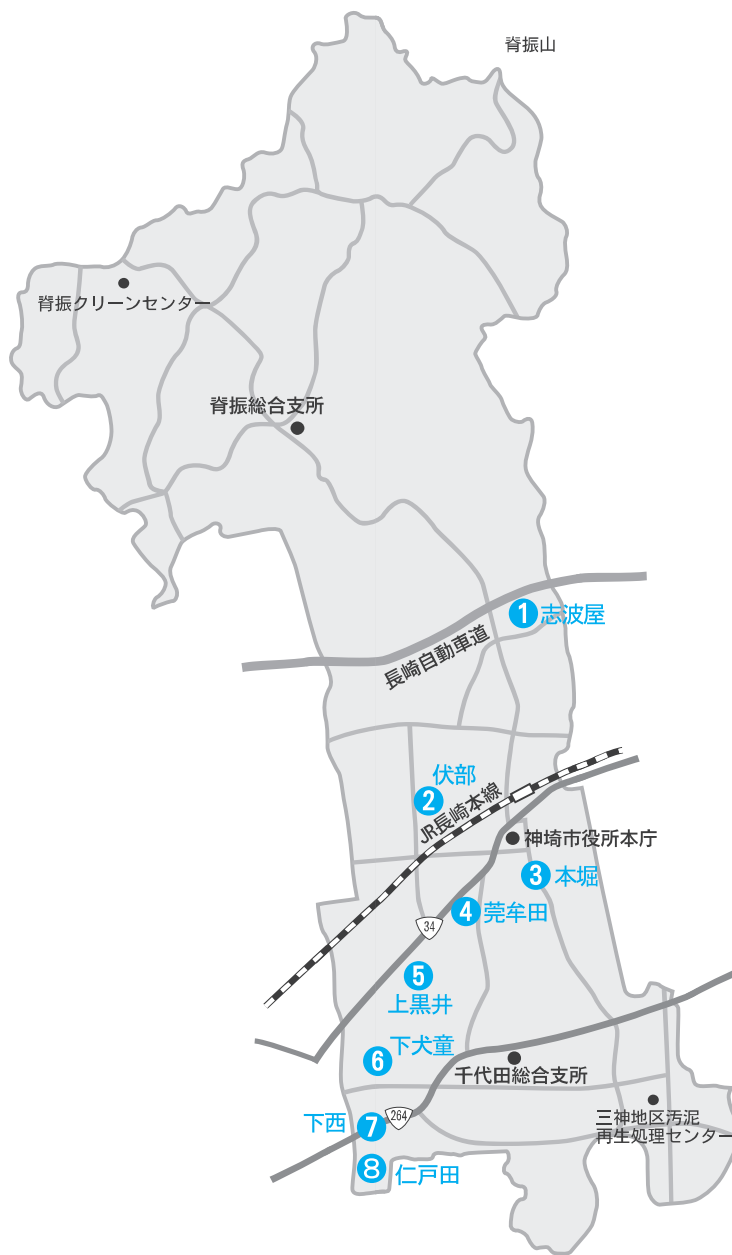
地区紹介 10



市民相互の理解と融和を図るため、市内121地区（神埼：63地区、千代田：49地区、脊振：9地区）を紹介しています。

今回は、7地区を紹介します。

※人口、世帯数は、平成20年11月末日の住民基本台帳のデータです。（施設などを含みます）



ふすべ
② 伏部 <神埼町>

人口 46 人、世帯数 15 世帯

伏部は、神埼市の中部田園地帯に位置したのどかで住みやすい所です。

地名は、この地域の安全を脅かしていた大蛇を、住民が柏木をふすべて（いぶして）退治したという伝説に由来します。

毎年12月下旬には、伝統行事の天満宮祭りを行います。この日は、皆で公民館に集まり、豊作、家内安全を祈り、また婦人会が中心となって炊き出しを行い、手作りの料理を楽しみながら親睦を深め合っています。

小さな地区ですが、その分、みんな家族同然に付き合っており、現代社会で失われがちな心の絆を、しっかりと育てています。



▲天満宮祭りが行われる広場

しわや
① 志波屋 <神埼町>

人口 434 人、世帯数 138 世帯

志波屋は、神埼町の北東、県道31号が東西に走り、吉野ヶ里遺跡につながる南北に細長い丘陵の上に位置しています。

県史跡「伊勢塚」（前方後円墳）など、縄文時代から古墳時代までの遺跡が随所に見られ、「しわや」という地名も、神（伊勢）にかかる枕詞の“ちはやぶる”から付いたという説があります。

以前から、地区の老人クラブや婦人会、消防団や、子どもクラブ間の交流が盛んで、年末もみんなで公民館に集まり、餅つきや、しめ縄作り、料理作りなどが行われます。



▲地区の交流「しめ縄作り」

にとだ
⑧ 仁戸田 <千代田町>

人口 81 人、世帯数 20 世帯

仁戸田地区の昔の呼称は、「贄田」でした。「贄田」から「二家田」、さらに「仁戸田」に変わったようです。贄田とは、「神への供物田のこと」か「貢物の田のこと」といわれています。

地区では、毎年12月の第2日曜日にお祭りをします。当日は、早朝から大人と子どもたちがお宮（熊野神社）に集まり、しめ縄作りをして奉納します。まず稲わらをさばくところからはじめて、最後に大縄にし、締めあげて本殿などに飾りつけます。

小学生からお年寄りまで参加し、楽しく集いながら伝統行事を引き継いでいくため、今後も努力していきたいと思っています。



▲地区の伝統行事「しめ縄作り」

しもさい
⑦ 下西 <千代田町>

人口 801 人、世帯数 259 世帯

下西地区（仲田町、下西）は千代田町の西南にあり、国道264号仲田町交差点を中心とした位置にあります。

当地は佐賀市中心街に近く開発が進み住宅地としても最適な所です。

佐賀市境の旧道沿いには、長崎街道の名残として国境石が建っています。

「従是 東 神埼郡 西 佐嘉郡」と記してありますが、建てられた時代は不明です。

また、近くに貴別当神社（仲田町の氏神さん）がありアベマキ、イチイガシ（樹齢200年）が神埼市天然記念物（名木・古木）に指定されています。ぜひ一度立ち寄ってみてください。



▲国境石

くぐむた
④ 莞牟田 <神埼町>

人口 467 人、世帯数 150 世帯

莞牟田は、東西280m南北190mの環濠集落でしたが、かつてのクリーク景観は失われつつあります。

日本近代文学の作家として、小説や随筆、童話など幅広い分野で活躍した吉田絃二郎の生誕の地であり、子どもの読書を通しての情操教育、地区の活性を目指して、平成19年4月に公民館敷地内に記念碑を建立しました。

地区行事では、5月に八幡神社の春祭り、12月に地区民の親睦と融和・活性化を目指し、子どもからお年寄りまで地域支援事業「莞牟田（通称くぐむた）祭り」を2日間にわたり開催しています。

また、1年を通して「あいさつ運動」を実施しています。



▲吉田絃二郎の生誕の地として記念碑を建立

もとほり
③ 本堀 <神埼町>

人口 1,761 人、世帯数 617 世帯

本堀は、昭和40年代に入って、住地化が進み、人口世帯数が急増しました。

毎年、4月下旬には、班別対抗グラウンドゴルフ大会、5月の最初の巳の日に弁財天祭り、8月9日に観音様祭りおよび女子の千燈呂祭り、10月の下旬に御天待（おてんとうさん祭り）、12月18日に天満宮祭りをを行っています。

8年に一度行われる御幸大祭には、子供やっこ、八乙女、青年やっこが200名、二丁目、本堀、野目ヶ里の3地区で参加しています。また、2年に一度下宮のしめ縄作りを地区民総出で作っています。

今後も祭りなど、伝統行事は続けて行き、後世に伝えていきたいと思っています。



▲勢ぞろいの青年やっこ